

地域・社会



基本的な考え方

保土谷化学グループは、事業活動を営んでいく上で、地域コミュニティの持続的発展への貢献を企業市民として重要な活動と考えております。化学を通じた子供たちの育成、工場が立地する地域での環境保全活動や、人々の豊かな暮らしに役立つ有形物・無形物の提供等、さまざまな地域貢献活動に取り組んでおります。また、内閣府が「激甚災害」に指定した災害が保土谷化学の主要拠点所在地で発生し、拠点近隣の被害が甚大であった場合、前年度当期利益の一定割合を被災した県に支援金として寄付することによりしております。

社会貢献活動実績

2025年度の社会貢献活動費の総額は1,427万円で、その内訳は工場が立地する地域のイベント等に1,017万円、環境整備等に410万円でした。

地域貢献活動の取り組み

- 地域インフラ支援（福島交通バス車両退避訓練等）
- 清掃・除草活動（クリーンこおりやま運動、近隣酒造の田の草取り等）
- 生物多様性の取り組み（周辺水域（湖、河川）の清掃活動、植樹活動、周南市ブルーカーボンプロジェクト、長野県「生物多様性保全パートナーシップ協定」等）
- 教育支援（夏休み子ども化学実験ショー、出前授業実施、インターンシップ受け入れ等）
- 地域対話（工場見学等）
- 地域イベントへの参加（うねめまつり、こおりやま産業博、サンフェスタしなんよう等）
- 手話教室開催
- 子供食堂・フードパントリー等への寄付
- 地域の高等学校へ全国大会出場奨励（寄付）

社会貢献活動費の推移

（単位：万円）

	2023年度	2024年度	2025年度
社会貢献活動費	1,417	1,033	1,427
地域のイベント等	1,027	1,033	1,017
環境整備等	390	0	410

地域インフラ支援と災害時連携

保土谷化学グループは、地域社会の一員として行政や地域の皆様と協働し、安心・安全な暮らしへの貢献に努めています。

その一環として工場敷地の無償貸与を行っており、郡山工場では郡山駅東西連絡自由通路や市営駐輪場およびタクシー待機所、南陽工場では新南陽球場などの公共インフラに活用されています。防災面では、郡山工場、郡山市、福島交通郡山支社の3者間で「災害時におけるバス車両退避に関する協定」を締結。2019年の台風19号襲来時には、敷地の一部を退避場所として速やかに提供し、公共交通機関の被災車両低減に貢献しました。今後も、地域の安全を守る活動に積極的に協力してまいります。



山口県危険物安全大会表彰

2025年6月19日に開催された「山口県危険物安全大会」の表彰式において、保土谷ロジスティクス南陽営業所が、山口県内の他13団体とともに「優良事業所の部」を受賞しました。同営業所による長年の危険物施設等の安全管理と災害防止への適切な取り組みが周南市消防本部に高く評価され、推薦をいただいたものです。今回の受賞を大きな励みとし、今後も引き続き危険物施設の安全管理と徹底した災害防止に努め、周南市危険物保安協会をはじめとする地域の保安活動へ積極的に協力・貢献してまいります。



地域・社会

化学を通じた教育支援活動

保土谷化学グループは、次世代を担う子どもたちに化学の面白さや不思議さを伝え、科学技術の発展や環境意識の醸成を支えるため、各種実験イベントへの出展や小学校での出前授業といった教育支援活動を積極的に推進しております。

2025年8月には科学技術館で開催された「夏休み子ども化学実験ショー」に出展。当社の天然色素を用いた「オーシャンボトルづくり」を通じて、水と油が分離する性質を楽しく体感する実験を行い、連日予約枠が即日埋まる大盛況となりました。また、各事業所でも地域と連携した出前授業を実施しております。南陽工場では2025年10月に近隣の小学校（2校）を訪問し、毛細管現象を利用したインクの分離実験や密度差を用いた「液体での国旗づくり」を行い、身近な現象から化学への興味を促しました。郡山工場では2026年2月に近隣の小学校の4年生を対象に「水」をテーマとした授業を行い、ペットボトルを使用したろ過器による泥水のろ過実験や液体窒素のデモを実施。郡山工場が近隣河川の水をきれいにして戻す環境配慮の取り組みも紹介し、SDGsや理科の単元とリンクした深い学びを提供しました。

これらの運営には多くの若手社員が主体的に参画しており、子どもたちとの交流を通じて多様な経験を積む、頼もしい社員教育・成長の場ともなっています。今後も、化学が持つ力を通じて地域社会の未来に貢献する活動を継続してまいります。



WFPウォーク・ザ・ワールド

保土谷化学グループは、CSR活動の一環として、国連世界食糧計画（WFP）主催のチャリティイベント「WFPウォーク・ザ・ワールド for アフリカ 2025 横浜」に参加しました。同イベントはSDGs目標2「飢餓をゼロに」に賛同し、参加費の一部がアフリカの子どもたちへの学校給食支援に寄付されるものです。2025年5月11日、本社および横浜工場の役職員計10名が5kmコースにエントリーし、全員で完歩しました。イベント全体では4,741名が参加し、約15.5万人の給食に相当する寄付金が集まりました。当社グループは今後も役職員一人ひとりの主体的な行動を通じ、持続可能な社会に貢献する活動を継続してまいります。



生物多様性への取り組み：猪苗代湖クリーンアクション

保土谷化学グループは、生物多様性の保全に積極的に取り組んでいます。

2025年4月26日、猪苗代湖畔の清掃活動「猪苗代湖クリーンアクション」に参加しました。美しく豊かな自然のなかで清掃を行うことで、環境保全の大切さを身をもって実感するとともに、地域住民や当社役職員との温かい交流を通じて人とのつながりを学ぶ貴重な機会となりました。新入社員をはじめ、役職員一人ひとりが社会貢献活動へ主体的に関わり、今後も持続可能な地球・社会の実現に向けて、地域に根差した環境保全活動を推進してまいります。

